

2016 年度教員免許更新講習【必修講習】「教育の最新事情」時間割・講義概要

2016 年 8 月 3 日（水）

タイムテーブル	(分)	講師	担当分野 ※最終ページ 参照	講義タイトル	講義概要
9:30-10:30	60	長島 啓記	a, b	国の教育施策と 主要国の教育の 動向	近年の文部科学省による学校制度、教育課程、教育行政、学校運営、教員養成などに関する施策の背景や内容、今後の方向について、検討する。その際、教育再生実行会議の諸提言、中央教育審議会の答申、法令改正等参照し、整理する。併せて、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランスなど主要国の教育動向について、学力向上施策を中心に概観する。
10:40-11:40	60	佐藤 隆之	c, d	子ども観、教育 観の省察	本講では、子どもとは何か、教育とは何かという問いに、歴史的・哲学的アプローチから迫ることにより、教師としての子ども観や教育観について再検討する機会を提供したい。子ども観については、近代における子どもの誕生から現代における子どもの消滅、あるいは子どもと大人の境界の揺らぎについて論じる。教育観については、ケーススタディに取り組みながら、望ましい教育とは何かということを、現在学校教育に求められている社会的要請を視野に入れて検討する。
11:40-12:40	60	(昼休み)			
12:40-13:40	60	坂爪 一幸	e	神経心理学から 考える発達と教育	子どもの心（学力・行動・生活）の基盤は脳です。心は脳の成熟に伴って発達します。脳のさまざまな機能は心の構成要素といえます。心の構成要素（高次脳機能）が協調・統合して、授業や学校生活は成立しています。それらがうまく発達しない場合もあります。本講義では、脳の構造と機能、心の構成要素（高次脳機能）とその障害、そしてそれらと教育との関係を神経心理学の立場から考えてみたいと思います。
13:50-14:50	60	梅永 雄二	f	発達障害の理解 とライフスキル 教育	LD、ADHD、ASD(自閉スペクトラム症)といった発達障害の特性を理解し、彼らの学習上の困難性を検討します。 それらを踏まえた上で、彼らが大人になってから、どのような問題を生じているかを把握し、大人になった発達障害者の必要なライフスキルを獲得するための教育支援のあり方を学習します。
15:00-16:00	60	本田 恵子	h	多様化に応じた 学級づくりと学 級担任 の役割	インクルーシブ教育を効果的に実践するためには、学級のアセスメントが要になります。アセスメントの技法としての行動観察と質問紙の紹介、グループダイナミクス理論の解説を行います。また、学習グループや生活グループをどのように構成していくか、MI（マルチプルインテリジェンス）を活用した授業づくりについて解説します。

2016 年 8 月 3 日 (水)

タイムテーブル	(分)	講師	担当分野 ※下記参照	講義タイトル	講義概要
16:10-17:10	60	堀 正士	1	教員が行う生徒児童の心理カウンセリングについて	主に教員が行う学校での心理カウンセリングは、生徒児童のニーズの見立てと学校生活を含めた日常生活支援の一つである。一方で、教員と生徒児童は「縦の関係」であること、教員自身が学校という構造の一構成員であること、面接場面の構造化が困難であることなど、一般の心理カウンセリングとは趣が異なるのも学校における心理カウンセリングの特徴であるといえる。 この講義では、主に「構造的な相談室」におけるカウンセリング技法を中心に解説する。
17:20-17:30	10	認定試験準備 (着席の状態でお待ちください)			
17:30-18:10	40	認定試験 ※資料の持込可			
18:10-18:30	20	答案回収・答案整理 (答案が全数揃っていることを確認後、解散となります。)			

※講習の状況により、終了時間が予定より遅れることがあります。予めご了承ください。

※講習会場：早稲田キャンパス 14 号館 2 階 201 教室

<ご参考>必修講習で扱うべき担当分野について

※灰色網掛けの項目は、その枠中で一つ実施すれば良い。白抜きの項目は必須。

領域	事項	記号	含めるべき内容・留意事項
必修領域： すべての受講者が受講する領域	イ 国の教育施策や世界の教育の動向	a	国の教育施策
		b	世界の教育の動向
	ロ 教員としての子ども観、教育観等についての省察	c	子ども観、教育観等についての省察
		d	教育的愛情、倫理観、遵法精神その他教員に対する社会的要請の強い事柄
	ハ 子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見（特別支援教育に関するものを含む。）	e	子どもの発達に関する、脳科学、心理学等の最新知見に基づく内容
		f	特別支援教育に関する新たな課題（LD、ADHD 等）
	二 子どもの生活の変化を踏まえた課題	g	居場所づくりを意識した集団形成
		h	多様化に応じた学級づくりと学級担任の役割
		i	生活習慣の変化を踏まえた生徒指導
		j	社会的・経済的環境の変化に応じたキャリア教育
		k	その他の課題
		1	カウンセリングマインドの必要性